



・仕入確定入力では当日仕入、先取りデータの入力を行います。
入力は野菜担当が責任を持って入力します。

・分荷入力では残荷・仕入データ（山ごと）に対して得意先毎の分荷数量の入力を行います。
1山に対して20得意先までの入力が可能です。
また分荷数量を入力すると即座に在庫数量の計算・表示されますので入力間違いを確認出来ます。

・仕入先からの仕入単価情報を入力します。

・分荷入力したデータに対して売上単価の入力を行います。
売上単価は1つの商品に対して2種類もつ事が出来ます。

・当日分以外（赤伝など）の売上・仕入データの入力を行います。

・組合送信データを作成しデータを送信します。

・掛売客は納品書の発行を行います。

・残荷入力後におかしいデータのチェックを数合せ表で行います。

・当月分の月初から当日までの売上・仕入・粗利を確認します。

・野菜担当者、商品ごとの売上、粗利を当日、累計を確認します。

・一日の処理の確定を行います、と同時にバックアップも行います。